

2025 年 8 月 20 日

ADK マーケティング・ソリューションズ、OpenX 社のサービスを活用し 「ADK カーボンオフセット広告®」の提供を開始 ～クライアント企業のデジタル広告におけるカーボンオフセットを実現～

株式会社 ADK マーケティング・ソリューションズ(本社:東京都港区、代表取締役社長:大山 俊哉、以下「ADK MS」)は、SBTi (Science Based Targets initiative)^{※1} のネットゼロ目標の達成において第三者認証を受けた世界で唯一の SSP を運営している OpenX JAPAN 株式会社(本社:東京都港区、代表取締役:John Gentry、以下 OpenX)のサービスを活用し、企業のデジタル広告取引におけるカーボンオフセットを実現する「ADK カーボンオフセット広告®」^{※2} の提供を開始しました。

近年、企業のカーボンニュートラル実現に向けた取り組みが加速する中、広告分野でも環境負荷を低減する手法として「カーボンオフセット広告」が注目されています。カーボンオフセット広告とは、事業活動などにより排出される温室効果ガスをできるだけ減らすように努力をし、削減できない排出について、排出権(クレジット)の購入を行うことで、排出量を埋め合わせ(オフセット)する仕組みです。

特にインターネット広告は、配信時にサーバーやネットワークインフラ、ユーザー端末で電力を消費するため、広告配信に伴う CO₂排出量が課題となっています。

こうした間接的な排出(Scope3)にも企業として責任を持つことが求められる中、カーボンオフセット広告はクライアント企業の環境配慮姿勢を社会に示す新たな選択肢として、広がりとあります。

「ADK カーボンオフセット広告®」は、OpenX の Deal Id を活用し、広告配信時に発生する(CO₂)排出量を測定し、リアルタイムで排出量を相殺します。さらに、キャンペーンのパフォーマンスデータを分析し、得られたインサイトを提供することで、今後の広告キャンペーンにおけるさらなる CO₂排出量削減を可能にします。

1. OpenXがカーボンオフセットを実施
詳細なレポートも可能

2. Googleのデータを活用した
詳細なターゲティングが可能

3. 多彩なクリエイティブフォーマットで
の広告掲載が可能

4. ADKが独自契約しているソリューションにより、
ブランドセーフな広告配信が可能

ADK MS は今後も、ADK カーボンオフセット広告®を通じて、クライアント企業の環境への取り組みや持続的な事業成長に貢献してまいります。

※1 SBTi は、「Science Based Targets initiative (科学に基づく目標設定イニシアチブ)」の略称です。国連グローバル・コンパクト、世界資源研究所 (WRI)、世界自然保護基金 (WWF)、CDP による共同イニシアチブとして 2015 年に発足。

※2 「ADK カーボンオフセット広告®」は株式会社 ADK マーケティング・ソリューションズの登録商標

<株式会社 ADK マーケティング・ソリューションズ 会社概要>

マーケティング領域全般における統合的なソリューションをフルファネルで提供。2021 年に始動した事業ブランド「ADK CONNECT」がフラッグシップとなり牽引するデジタル&データドリブン・マーケティング領域では、専門性の高いスペシャリストが組織横断で集結し、クライアントのビジネス成果に貢献する「価値ある顧客体験」をご提案します。

・ADK MS ウェブサイト <https://www.adkms.jp/>

本件に関する問合せ先

株式会社 ADK マーケティング・ソリューションズ

メディアビジネス本部 プラットフォーム戦略局 藤森/山縣/山田

株式会社 ADK ホールディングス

経営企画本部 PR・マーケティンググループ 内山/根岸 e-mail: mspr@adk.jp